

○ICT活用で確かな学力をつけよう（実践報告）

1  
2  
3  
4

学年・教科

3 学年以上・総合

単元名

「キーボー島アドベンチャー」にチャレンジ！

実践者（所属）

田中 啓介（平小学校）

活動を始める前に



(1) 準備するもの

コンピュータ（教師用機、児童用機 1 人 1 台）

【使用ソフト】Sky Menu、あんしん・あんぜん情報モラル、IE

「キーボー島アドベンチャー（<http://kb-kentei.net/>）」

キーボード入力練習を目的とした無料サイト。教師の事前登録が必要。児童登録時は「csv ファイルを使わずに登録する」を選択し、人数登録後にcsvファイルをダウンロード・印刷。

(2) ICT機器やメディアの活用のねらい

文字入力にまどって、学習のねらいが達成できない児童を少なくしたい。

「パスワード」や「コンピュータの使用時間・使用環境」についても指導

5

指導計画

（2 時間扱い）

| 時 | 児童の活動   | 指導上の留意点   |
|---|---|---|
| 1 | パスワードの大切さについて、学習。   | 姿勢やモニターとの距離にも注意<br>「30 分以上やらない」「大人が同じ部屋に<br>いるときにやる」という2つの約束<br>サイトから保護者向けのプリントをダウン<br>ロードして配布する。<br>家庭ではできない児童もいるので、学校で<br>も練習時間を確保することを伝える。 |
| 2 | 「キーボー島アドベンチャー」に挑戦。  |   |
| 他 | 休憩をとり、使用時間、使用環境について<br>指導。その後、再挑戦。<br>その後は、朝自習や休み時間などで練習する<br>時間を確保するほか、家庭にも協力をお<br>願いする。 |   |

6

活動の流れ

| 時間 | 学習内容・指導上の留意点   | 児童の活動（利用メディア）   |
|----|--|---|
| 1  | SkyMenu で教師用機の画面を転送し、「あんしん・あんぜん情報モラル」を視聴<br>「キーボー島アドベンチャー」の ID と初期パスワードを各自に伝える。<br>・児童登録時にCSVファイルがダウンロードできるので、印刷しておく<br>・パスワード変更をした児童から、挑戦しても良いと伝える。 | 『パスワードはひみつの合い言葉』のムービーを全員で視聴<br>ニックネームは本名を入れない。<br>初期パスワードから、自分で考えたパスワードに変更する。 |
| 2  | 長時間の使用は健康に影響がでることを伝える。家庭でもできることを伝え、大人と一緒に使うことを約束する。  | 休憩をとる。（10 分程度）<br><br>再挑戦する。  |

7

取り組み後の子ども達の変容や成果

ゲーム感覚で、自分のめあてをもったり、友だちと競い合ったりしながら、取り組み、次回を楽しみにしている。

すぐに家庭でも取り組む児童が 1 / 3 程度いた。（家庭での使用時間も教師は確認できる。）

家庭向けのプリントも配布したので、保護者への啓発も期待できる。

8

応用できます！

新指導要領ではローマ字の学習は 3 年生なので、どの学年でも学習できます。

SkyMenu で教師用機の画面転送、URL の転送、児童用機のロック、電源管理などの基本操作を行ったり、教師用機でトラブルが発生した児童用機の操作をしたりすることができるので、教師が児童に呼ばれて、右往左往するということがありません。

「あんしん・あんぜん情報モラル」のムービーを見るだけでも、子どもたちの情報モラルの意識が変わります。